

Alumni

関西外国語大学・短期大学部同窓会誌

Vol. 13
Oct. 2023

Kansai Gaidai University Alumni Association



KGUAA

写真は御殿山キャンパス図書館学術情報センターです



関西外国語大学
理事長・総長
関西外国語大学・短期大学部同窓会
名誉会長

谷本 榮子

Eiko Tanimoto

Eiko Tanimoto

President of the Board of Trustees, Chancellor, Kansai Gaidai University
Honorary Chair, Kansai Gaidai University Alumni Association

I would like to congratulate you on the publication of the 13th issue of the Alumni Association's newsletter, Alumni.

With a status change of COVID-19 under the Infectious Disease Control Law, we have finally returned to “normal activity” after three years of restrictions. On behalf of the university and students, I would like to express my sincere gratitude to the Alumni Association for your continued cooperation and support during this time.

The environment surrounding university education is increasing severity due to the domestic birthrate declining at a faster-than-expected rate. This year at Kansai Gaidai University, we launched the College of Global Engagement as well as the School of English and Digital Communication in the College of Foreign Studies. Next spring, we will introduce the School of Japan Studies and Global Communication in the College of Foreign Studies and the Division of International Future Career in the Junior College. As difficult times only make us stronger, we are determined to prevail by taking this pinch to advance educational reform.

The Alumni Association and its advancement throughout society is most welcome for both the university and students. As part of our tradition of international exchange, we had our first homecoming event for the Asian Studies Program this year. Furthermore, as we approach our 80th anniversary of establishment in 2025, I sincerely hope that the strong bond among alumni and the Alumni Association, both at home and abroad, becomes the vitality to overcome difficulties, and in extension, works toward the continued growth of the university.

I wish for the continued growth of the Alumni Association and continue to look forward to your assistance and encouragement.

同窓会会報誌「Alumni」第13号の発行をお祝い申し上げます。

3年に及ぶ行動制限が続いた後、コロナの感染症法上の位置付け変更を経て、ようやく「日常」が戻って参りました。この間、同窓会の皆さまには、以前にも増して、大学への協力と学生への支援を賜り、心より感謝申し上げます。

少子化が予想を超える速度で進み、大学を取り巻く環境は厳しさを増しております。関西外大は今年、「国際共生学部」と外国語学部「英語・デジタルコミュニケーション学科」を開設しました。来春には、外国語学部「国際日本学科」と短期大学部「未来キャリア英語学科」を新設します。ピンチをチャンスととらえ、教育改革を進め、生き残りを図る所存です。

社会に広がる同窓会のネットワークは、大学にとっても、学生にとっても、何よりも頼りになる存在です。伝統ある国際交流においても、今年初めて留学生別科ホームカミングを開催しました。再来年の創立80周年に向け、国内外で強まる同窓会の絆を、難局を乗り越える力に変え、大学の成長につなげられればと期待しております。

同窓会の益々の発展をお祈りするとともに、母校へのさらなるご協力とご鞭撻をお願い申し上げます。



関西外国語大学・短期大学部
同窓会 会長

藤木 英幸

3年間も続いた新型コロナの流行から、ようやく以前の活気ある日常が戻ってきました。この間、私たちの母校である外大も大きな影響を受けましたが、同窓会活動も大きく制限されホームカミングデーをはじめとして、各支部の活動もイベントの中止や延期を余儀なくされました。

関西外国語大学・短期大学部同窓会はコロナ禍の停滞を取り戻すべく、今年から活発に活動していく所存です。

去年は母校で行うホームカミングデーが再開され、コロナ禍で延期していました九州支部の設立総会も行われました。また今年の7月には、金沢で北陸支部の設立総会を挙行。さらに関西外大に学んだ留学生のホームカミングデーも大学主催で盛大に開かれ、オール卒業生で旧交を温めながら、母校との連携を密に図ることができました。

日本の少子高齢化の進行は加速しており、大学を取り巻く環境は非常に厳しいと身にしみて感じています。このような環境の中、今年は関西外大・短期大学部の卒業生が20万人を超えました。

関西外国語大学・短期大学部同窓会は、本部および支部活動を通じて久し振りの親交を楽しむと同時に、母校への貢献も積極的に行っていきたいと思っております。

この会報誌を読まれる皆様が同窓会活動に興味を持っていただき、積極的に参加いただくことで今まで以上に同窓会活動を活発化していきたいと存じますのでご協力をよろしくお願いいたします。

Hideyuki Fujiki Chair

Kansai Gaidai University Alumni Association (KGUAA)

After three years of the COVID pandemic, we have finally returned to our vibrant daily lives. In addition to our alma mater Kansai Gaidai being affected during this time, Alumni Association activities were restricted, forcing the cancellation or postponement of events such as our annual Homecoming Day and various chapter activities.

The Kansai Gaidai University Alumni Association (KGUAA) is determined to reactivate its activity in hopes of making up for stagnations caused by the COVID situation.

Last year, we were able to resume our Homecoming Day, and the Kyushu Branch held its inaugural meeting which had been postponed due to COVID. In July of this year, the Hokuriku Branch was able to hold its inaugural meeting in Kanazawa. In addition, the university hosted its first homecoming event for international students who have studied in the Asian Studies Program. As we aim to continue working closely with our alma mater, we have been successful in renewing lifelong relationships among all alumni.

With Japan's declining birthrate and aging population accelerating, we are forced to acknowledge the rigid environment surrounding university education. In spite of this, the number of graduates from Kansai Gaidai University/College exceeded 200,000 this year.

KGUAA and our regional branches look to providing alumni with opportunities to re-establish old ties and friendships, while actively committing to the advancement of our alma mater.

We sincerely hope that those of you reading this will take interest and participate in our alumni engagement activities and help us make them more exciting than ever. We thank you for your continued cooperation.

第6期事業計画

2021年10月～
2023年9月

～ Starting the Next Chapter ～

コロナ禍からの再出発を目指す第6期事業計画においては、『オール関西外大』の理念のもと、大学および短期大学部（関西外大ハワイ校を含む）同窓生の横断的な絆の深化を図るとともに、同窓会、母校、現役生が一体感をもった強固で柔軟かつ持続的な組織の構築を目指す。

第6期事業計画では、同窓会設立の原点に回帰した事業方針の一貫性と継続性を堅持しつつ、コロナ禍による第5期事業計画での未達成の施策の継続とともに、ポストコロナ/ウイズコロナ社会における同窓会の内外環境の様々な変化に柔軟に対応することのできる新規事業を事業計画に落とし込み、実効性のある施策を実施することとする。

1 同窓会組織の充実

- (1) 短期大学部卒業生の同窓会活動への参加推進
- (2) 同窓会への登録推進
- (3) 支部設立の支援
- (4) ホームカミングデーへの参加推進
- (5) 同窓生の連帯強化策の深耕
- (6) 支部活動充実のための支援

2 情報発信の強化

- (1) 情報発信機能
(会報誌Alumni・ホームページ・Facebook)の有効活用
- (2) ホームページアクセス数・Facebookのフォロワー数の増加

3 現役生への支援活動の多様化

- (1) クラブ活動への支援
- (2) 就職支援活動の多様化

4 母校との連携強化

母校の関係部署との連携を強化し母校の発展・充実寄与に最大限の効果をもたらす

役員紹介

名誉会長	Honorary Chair	谷本 榮子	Eiko Tanimoto	関西外国語大学 理事長・総長
名誉副会長	Honorary Vice Chair	大庭 幸男	Yukio Oba	関西外国語大学 学長
名誉副会長	Honorary Vice Chair	谷本 和子	Kazuko Tanimoto	関西外国語大学短期大学部 学長

第7期同窓会本部役員(2023年10月1日～2025年9月30日)

会 長	Chair	藤木 英幸	Hideyuki Fujiki	外国語学部(Foreign Studies)	1983年卒
副 会 長	Vice Chair	高橋 一彦	Kazuhiko Takahashi	外国語学部(Foreign Studies)	1980年卒
副 会 長	Vice Chair	有本 昌剛	Masatake Arimoto	外国語学部(Foreign Studies)	1981年卒
副 会 長	Vice Chair	松田 裕子	Yuko Matsuda	外国語学部(Foreign Studies)	1986年卒
副 会 長	Vice Chair	井端 義人	Yoshihito Ibata	外国語学部(Foreign Studies)	1986年卒
副 会 長	Vice Chair	前田 英樹	Hideki Maeda	外国語学部(Foreign Studies)	1992年卒
幹 事 長	Secretary General	稲増 哲	Satoshi Inamasu	外国語学部(Foreign Studies)	1986年卒
会 計 監 査	Auditor	牧志 里美	Satomi Makishi	外国語学部(Foreign Studies)	1986年卒
会 計 監 査	Auditor	松田 賀宏	Yoshihiro Matsuda	外国語学部(Foreign Studies)	1986年卒

2022年度 収支決算書

自 2021年10月1日 至 2022年9月30日 (単位 円)

科 目	予算額	決算額	予算比	備考
1 繰越金	153,440,713	153,440,713	0	
2 同窓会費	32,000,000	30,250,000	△ 1,750,000	2022年3月・8月卒業生入会費
3 寄付金	0	0	0	
4 同窓会懇親会費	1,500,000	114,000	△ 1,386,000	九州支部設立総会
5 受取利息	30,000	416	△ 29,584	普通預金
6 雑収入	0	0	0	
7 預り金収入	20,000	20,604	604	源泉徴収
8 収入合計	33,550,000	30,385,020	△ 3,164,980	
9 収入の部合計	186,990,713	183,825,733	△ 3,164,980	
10 行事費	100,000	0	△ 100,000	
11 奨学金・協賛費	11,600,000	11,950,000	350,000	同窓会奨学金、生活困窮学生食料支援課外活動等支援奨励金
12 支部補助金	6,650,000	1,390,198	△ 5,259,802	支部年間補助金、九州支部設立総会等
13 外注費	2,000,000	1,485,015	△ 514,985	ホームページ管理費、会員データ管理費等
14 出版・印刷費	2,060,000	1,991,586	△ 68,414	会報誌制作費等
15 会議費	20,000	1,938	△ 18,062	
16 旅費・交通費	570,000	491,878	△ 78,122	事務局職員交通費九州支部設立総会役員交通費等
17 通信運搬費	4,580,000	4,471,365	△ 108,635	会報誌郵送費電話代等
18 人件費	2,520,000	2,395,049	△ 124,951	事務局職員給与等
19 雑費	150,000	148,363	△ 1,637	バラスポーツ基金、事務用品費、消耗品費等
20 予備費	1,000,000	0	△ 1,000,000	
21 預り金支出	20,000	19,204	△ 796	源泉徴収
22 支出合計	31,270,000	24,344,596	△ 6,925,404	
23 次期繰越金	155,720,713	159,481,137	3,760,424	
24 支出の部合計	186,990,713	183,825,733	△ 3,164,980	

次期繰越金内訳

大口定期預金（三井住友銀行枚方支店）	120,000,000
普通預金（三井住友銀行枚方支店）	39,388,537
現金	92,600
合計	159,481,137

2022年度同窓会奨学金採用者数

所属	採用者数	合計
大学	24人	30人
短大	6人	

2022年度課外活動等支援奨励金授与者数

区分	大会の規模	人数	成績
個人	全国規模	8人	3位1人、4位2人、5位2人、6位3人
個人	世界規模	1人	5位
団体	全国規模	4団体	1位1団体、2位1団体、5位1団体、8位1団体

Homecoming Day

3年ぶりのホームカミングデー・同窓会総会に約200人が参加しました

2022年度ホームカミングデー・同窓会総会が外大祭2日目の10月29日、中宮キャンパスのマルチメディアホールで3年ぶりに開催されました。午前中は、総会に続いてチベット出身で声楽家・社会教育家のバイマーヤンジンさんの講演会が開かれました。午後は、会場を厚生南館に移して懇親会が催され、総会と合わせ約200人が参加しました。



の開催となったことに触れ、「こうして皆さまのお元気で澁刺とした姿を拝見することができ、大変うれしく、心強く思っております」と話し、本学の

総会は、FBS放送局の吉野葵さん（外国語学部1年生）の司会で進行。まず、学歌斉唱に続き谷本榮子理事長があいさつしました。冒頭、新型コロナウイルス感染症の影響で3年ぶりの

社会的評価が年々高まっているのは、ひとえに皆さま方のご理解とご協力の賜物と謝意を示しました。

講演会では、バイマーヤンジンさんが「幸せへの近道—チベット人の私が日本で暮らして思うこと—」をテーマに、流ちょうな日本語で話しました。「幸せになる方法は教育しかない」と力説。「言語を勉強することで、その国の歴史や価値観を学ぶことができる。それが国際交流につながるのです」と話し、「どの人種も幸せになりたいと思い努力しています。まず、お互いを知り合うことが大事」と締めくくりました。最後に、バイマーヤンジンさんがチベットの歌「太陽と月」を披露し、参加者らは真剣な表情で聞き入っていました。

この後、開かれた懇親会では、同窓生たちが、飲食をともにしながら旧交を温め、昔話に花を咲かせていました。



「太陽と月」を歌唱するバイマーヤンジンさん



支部だより

関東支部

新型コロナウイルス感染症の発生以降3年間、私たちの行動が大きく制限される中で、すべてのイベントの開催を自粛して参りましたが、感染症法上の分類が5類に引き下げられ、様々な制限が緩和されたことから、今年春より、各種イベントを再開いたしました。

関東支部では、春と夏に懇親会を開き、秋に、年間最大のイベント「関東地区同窓会(関東支部総会・懇親会)」を開催しています。各種イベントの詳細は、eメール、関東支部HP、Facebook等のSNSを通じてご案内しています。



2013年10月、諸先輩方の多大なご尽力により産声を上げた関東支部は、設立10周年を迎えました。今日まで活動を続けてこられたのは、同窓生の皆様のご支援の賜物と厚く御礼申し上げます。今年12月3日(日)に開催を予定している関東地区同窓会では、設立10周年企画も検討中です。

関東支部スタッフ一同、皆様にお会いできる日を心待ちにしています。

ご意見・ご要望は関東支部までeメールにてお寄せください。

宛先: kanto@kansaigaidai-dousou.jp

関西支部

2020年以降、コロナ禍の影響でオンライン以外の各種イベントを中止せざるを得ませんでしたが、コロナ禍による規制がほぼ無くなった昨今、関西支部では、6月3日(土)に、「第4回 卒業生Reunion(支部総会・懇親会)」を中之島の大阪市中央公会堂にて開催いたしました。

「卒業生Reunion」としては5年ぶりの開催となり、当日は約60名の同窓生にご参加いただきました。余興の「外大クイズ」ではテーブル毎の対抗で、母校に纏わる問題はもとより、実際に出席された外大の入試問題等に頭を悩ませ、更に交

流を深めて頂きました。また、「懐かしの外大写真」では、70～80年代頃の外大写真が50枚近く解説付きでスライド紹介



卒業生 Reunion

されると、皆さま、真剣に見入っておられました。ご参加いただいた同窓生の皆さまには思い出に残る素敵な1日を過ごしていただけたことと存じます。



また、2021年にコロナ禍のイベントとして開始した『オンライン講演会』は、ほぼ定例化され、年3-4回開催しております。毎回講師に各方面でご活躍の同窓生をお迎えし、本会報誌が発行される頃には第8回の開催を予定しております。

引き続き関西支部の活動にご期待ください。



オンライン講演会

中部支部

2023年、中部支部では4年振りとなる総会・懇親会を7月30日（日）に総勢52人の方をお迎えし、名古屋市内のホテルにて開催しました。アメリカ在住の同窓生からのビデオメッセージや、現役学生によるフラダンスの披露など、華やかで楽しい懇親会となりました。



2023年中部支部総会・懇親会(2023.7.30開催)

今年の支部活動は、4月に「SAKURA PARTY」、そして5月

には第15回目となるゴルフコンペを開催するなど、コロナ前と同様に各企画・イベントを再開することができました。現在は11/26(日)開催予定のゴルフコンペや来年のイベントに向けて、支部役員一同で準備を進めています。詳細は、同窓会HPや支部のSNS等でお知らせする予定です。



SAKURA PARTY(2023.4.1開催)



第15回ゴルフコンペ(2023.5.21開催)

中部支部では今後も同窓会活動を継続しながら、現役学生への支援にも積極的に取り組んでいきたいと考えています。同窓生並びに関係の皆さまには、引き続き中部支部の活動に、ご理解、ご協力をお願いいたします。

北陸支部

2020年4月に設立した北陸支部(石川県・福井県・富山県・新潟県)は、ようやく設立総会の開催が叶い、7月9日に支部及び全国から75名の同窓生が参集いたしました。

総会では、浦上支部長の挨拶文紹介の後、馳浩石川県知事から、関西外大と石川県との連携協定締結のご提案をいただきました。谷本榮子理事長と藤木英幸同窓会長のお話からは同窓生の誇りと使命、関西外大の壮大なビジョンを確認いたしました。北口義一さん(1991年卒)の基調講演の後、「北陸支部設立宣言」が発表され、同窓生への支援、異業種交流、持続可能な同窓会活動の推進を誓い合いました。

祝賀会では、金沢芸妓の演奏・演舞、関西外大卒業生の川緒

祐子さんと地元北陸のジャズ奏者によるジャズコンサート、加賀・能登の食材を織り交ぜた料理などを堪能いただき、参加者からは、「参加して本当によかった!」、「これから是非参加したい!」との声。今後も、さらに有意義かつ楽しい場を提供し、交流を深めてまいります。



九州支部

昨年の9月、九州支部設立総会及び懇親会を無事に開催することが出来ました。素晴らしい会場、豪華なお料理、ジャズコンサート、忘れぬ思い出となりました。この春には、久留米市で懇親会を開催。会員相互の親睦も深まり、ライングループも立ち上がりました。同窓会九州支部の更なる発展を願って、博多と久留米での総会及び懇親会での画像データを用い、DVDを制作しました。また、支部オリジナルのマフラータオルも完成しました。

尚、今回で第3回となります<九州支部定期総会、及び懇親会のご案内>は、開催内容が決まり次第、改めて関西外大同窓会HPと九州支部ページに同時掲載致しますので、是非ご覧ください。



マレーシア支部

マレーシアでは、日本より一足先にアフターコロナに進んでおり、支部活動を全てリアル行事で行い、会員同士の交流を図っています。

今年前半は、公式行事予定から、春の懇親会を3月28日に開催(参加者7名)、5月21日開催の第20回マレーシア大学対抗ゴルフ大会(総勢157名、20大学出場)へ4名が出場しました。

ゴルフが盛んな地域柄もあり、上記以外に京都産業大学(2月25日)、関西大学(2月26日)の大学OB会とゴルフ対抗戦と交流会を行いました。7月22日には、九州地区の大学OB会も参加し西日本大学OBゴルフ交流戦も開催しました。

さて、今後の公式行事ですが、下記を予定しております。

- ・夏の懇親会(8月予定)
- ・マレーシア支部総会(9月末予定)
- ・第21回マレーシア・インカレゴルフ大会参戦(11月12日予定)
- ・忘新年会(12月～2024年1月)

現在、マレーシア支部のアクティブ会員数は、春に1名帰任され、7名で活動中です。実際には、多数の卒業生がマレーシアで活躍している筈ですので、今後は、支部会員数の拡大に力を注ぎたいと思います。現会員からの口コミでは、限界がありますので、ローカルのコミュニティ紙面での告知活動にもトライする予定です。

国内の同窓会の皆さまからも、是非、在マレーシア卒業生の情報をご提供ください。



春の懇親会



第20回マレーシア・インカレゴルフ大会

上海支部

現在活動を休止しております。

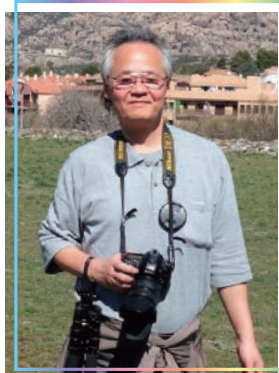
輝く同窓生

昨年9月から本年8月までに掲載された次の皆様方をはじめ、さまざまな分野でご活躍の本会会員を紹介する同窓会ホームページのコンテンツ「輝く同窓生」を是非ご覧ください。



野々山 浩代氏
グローバル・ビジネス・アドバイザー

1981年
外国語学部 英米語学科 卒業



古村 周三氏
在マドリッド・SNJ日西文化協会(非営利法人)
2021年2月に解散後、現在はプライベート団体
Kumasan Travel(個人経営)

1986年
外国語学部 スペイン語学科 卒業



手嶋 葵氏
株式会社デイクセル

2021年
外国語学部 英米語学科 卒業

「輝く同窓生」URL

<https://www.kansai-gaidai-dousou.jp/alumnus>



大学生活が 生きてくる日まで



外国語学部
教授 梶田純子

私は、思いがけず関西外大スペイン語学科に入学し、スペイン語が好きになれないまま卒業しました。しかし、その後、母校の大学院を経て、スペイン語やスペイン語圏文化を教えるようになってから、長い時間が過ぎました。

好きではなかったと言いましたが、入学後、スペイン語や英語に触れ、海外との行き来をする仕事に就いたのは、やはり大学時代にベースを作ってもらったからでしょう。

その後、大学の教員となり通常の授業に加え、ゼミを担当し、私の専門領域の「バスク」を一緒に学んだ学生たちとは、今も交流が続き、楽しい会話ができるかけ

がえのない関係となっています。もちろん、たった週1回の授業で出会った学生さんともです。

私の研究室は本や物が多いのですが、「帰ってきたという気がする」と言って、訪ねてくれる卒業生は、私の大事な財産です。今でも、彼らが帰ってこられる場所を守るべく、決して同じことを繰り返す授業をしないよう、新しい授業形態、内容に取り組んでいるつもりです。少しでも学生さんたちの「気づき」になればいいな、と思うからです。

立派なことはできませんし、言えません。ただ、実体験からの話、小ネタを話しながら、何とか学生さんが飽きないように日々格闘しています。私がそうであったように、大学生活が生きてくる日が来るまで、気長に待ち、お手伝いしたいと考えています。

卒業したあなた、また、大学・研究室に遊びに来てくださいね。もう少しだけ、待っていますよ。

クラブ
OB・OG
だより

チアリーダー部「パイレーツ」 創部30周年祝賀会 開催



チアリーダー部「パイレーツ」の創部30周年祝賀会が5月3日に大阪市内で開かれ、OGや現役部員ら約200人が歴史を振り返りながら、一層の活躍と発展を願いました。

パイレーツの創部は1991年で、2020年が30周年に当たっていましたが、新型コロナウイルスの影響で開催が延期されていました。

オープニングは、OGが現役時代と変わらないパフォーマンスを披露し、大きな拍手に包まれました。

祝賀会では、30年の歴史をたどる映像が流されたほか、現役部員が華麗な演技を披露し、OGに負けない華麗なパフォーマンスを繰り広げました。

また、創部以来16年間にわたって部長を務めた高木さんが30周年を記念して制作した応援歌「パイ

レーツ賛歌」を紹介し、参加者全員で合唱しました。

パイレーツは1997、1998年に全日本学生選手権を連覇、1997年と2001年にはジャパンカップで優勝するなど輝かしい記録を残しています。現在は、さまざまな大会で好成績を収めているだけでなく、地元の枚方市で防犯イベントや交通安全教室などで演技を披露するなど、社会貢献活動も活発に行っています。



パイレーツの
歴代ユニホームです

3年越しで開催にこぎつけることができました

学部・学科のご紹介

外国語学部

国際日本学科

2024年4月開設【定員200人】



**英語と日本語、そして文化・社会に
精通した「日本と世界をつなぐ」
グローバル人材を育成。**

国内の外国人材が増えている今、求められているのが職場や地域コミュニティで彼らをサポートする人材です。一方で、日本語教員や日本の文化を世界に発信する人材は不足しています。こうした社会状況を踏まえ、本学科では英語・日本語の優れた運用能力をもち、広く文化・社会に精通したグローバル人材を育てます。

- Point 1** 高度な英語運用力を身に付ける
- Point 2** 現場で「国際化」に貢献できる人材へ
- Point 3** 日本語を専門的に教えられる日本語教員を養成
- Point 4** 日本の伝統や現代文化を海外に向けて発信

短期大学部

未来キャリア 英語学科

2024年4月開設【定員150人】



**実用的な英語力を身に付けた
社会で必要とされる職業人を育成。**

アクティブ・ラーニング型授業により、社会で通用する英語力と課題解決能力を身に付け、ビジネス分野の学びを通じ、サービス・ホスピタリティ業界（航空・ホテル・旅行）や民間企業への就職力を獲得します。また、実学重視の授業で、即戦力としてアピールできる資格取得をめざします。

- Point 1** コミュニケーションツールとしての英語力
- Point 2** 体系的なカリキュラムで情報リテラシーを修得
- Point 3** 基礎的な人間力を磨くK.G.C.ベーシックス
- Point 4** 課題の解決を通して学ぶ就業体験型PBL※
※Project Based Learning＝課題解決型授業

学部・学科一覧

		入学定員	学びの特徴
国際共生学部	国際共生学科	70人 [海外から30人]	4年間オールイングリッシュで留学生とともに学び、多文化共生社会で新たな価値を創造する人材を育成。
	英語キャリア学科	120人	英語学×社会科学で、国際社会で活躍する次世代のグローバルリーダーを育成。
英語キャリア学部	英語キャリア学科 小学校教員コース	50人	関西外大独自の国際教育と充実した教員養成体制で英語が使える小学校教員を育成。
	英米語学科	730人 [200人]	高度な英語力と+αの専門知識を実践的に修得した次世代国際人を育成。
外国語学部	英語・デジタルコミュニケーション学科	200人	次世代国際人に求められる実践的な英語力とデジタルリテラシー、世界に通用する専門知識を養成。
	国際日本学科 2024年4月開設	200人	高度な英語運用能力を有し、日本語・日本文化に精通したグローバル人材を育成。
	スペイン語学科	250人 [20人]	次世代国際人に求められる、スペイン語と英語、世界に通用する専門知識を養成。
英語国際学部	英語国際学科	700人 [75人]	英語と中国語に加え、21世紀型の学びをベースに、未来創造型グローバル人材を育成。
短期大学部	英米語学科	550人	確かな英語力と豊かな人間力を養い、進学も就職も多様な進路を実現。
	未来キャリア英語学科 2024年4月開設	150人	実用的な英語力と課題解決能力を身に付けた職業人を育成。

国際交流

関西外大が留学に強い3つの理由

01 専門分野を学べる 留学が充実

留学の目的は、「語学」だけではなく
その先の「専門分野」の修得

関西外大の留学は、「語学」を学ぶだけの留学ではありません。もちろん、語学力を磨くことは大前提です。そのうえで、語学を一つの「ツール」として、「専門分野」の知識や教養を身に付ける留学を推奨しています。それは、将来、世界を舞台に活躍できる人材を育成するためです。

現地の学生とともに
学士課程の授業を履修

留学先大学では、学士課程の授業を現地の学生といっしょに学びます。留学を通して関西外大での学びをさらに深化、発展させます。海外での実践的な学修は、真のグローバル人材として成長するうえで、大きな力となるはずです。

02 定員のない手厚い留学奨学金 | 独自の「給付型」留学奨学金で留学をバックアップ

一人でも多くの学生が留学を実現できるよう、本学では、留学にかかる自己負担費用を大きく軽減する留学奨学金制度が充実。年間派遣学生数の約7割が、このサポートを受けて留学を実現しています。

フルスカラーシップ

留学先大学での学期中の

授業料 + 住居費 + 食費

「免除」または「支給」

約260人

(2022年度派遣人数
約1,250人のうち)

スカラーシップ

留学先大学での学期中の

授業料

「免除」または「支給」

約650人

(2022年度派遣人数
約1,250人のうち)

[フルスカラーシップを受給し留学する場合]

納入が必要な費用

2023年度入学生が3年次に1年間留学する場合、関西外大に納める1年間の授業料その他納付金

合計115.4万円

免除または支給される費用例

ニューヨーク州立大学オルバーニ校
(アメリカ・州立大学)の授業料、住居費、食費合計

合計580万円

内 訳

授業料

US \$ 28,308

住居費

US \$ 9,748

食 費

US \$ 5,850

合計 US \$ 43,906 = 約580万円

(US \$ 1=132円で換算)

※上記費用はFall2022/Spring2023 Academic Yearの費用です。私費で留学する場合は、上記費用が自己負担となります。

03 徹底した留学準備教育とサポート体制 | 留学先大学の授業レベルに対応できる学力やスキルを、留学前に修得

留学先大学での専門分野の授業にもスムーズに対応できる語学力やアカデミックスキルを修得できるよう、充実した教育プログラムを提供。海外の大学で求められる英語力と英語で議論し、発表する力などを身に付ける関西外大独自の「Super IES プログラム」をはじめ、各教育課程における学び、留学準備教育など、きめ細かく徹底的に行っています。

55カ国・地域 395大学

EUROPE & MIDDLE EAST

- ポーランド(2)
- スウェーデン(5)
- チェコ(1)
- オーストリア(4)
- デンマーク(1)
- ドイツ(8)
- スイス(1)
- アイスランド(1)
- イギリス(7)
- ベルギー(2)
- フランス(8)
- ポルトガル(1)

- スペイン(11)
- オランダ(6)
- イタリア(5)
- マルタ(1)
- ハンガリー(1)
- リトアニア(1)
- ノルウェー(3)
- エストニア(1)
- ラトビア(1)
- フィンランド(5)
- ルーマニア(1)
- ブルガリア(1)
- ロシア(1)
- トルコ(2)
- イスラエル(1)

AFRICA

- ケニア(1)
- モロッコ(1)
- エジプト(1)
- 南アフリカ(1)

OCEANIA

- オーストラリア(20)
- ニュージーランド(5)

ASIA

- 韓国(12)
- 中国<香港含む>(18)
- 台湾(2)
- タイ(2)
- カンボジア(1)
- フィリピン(1)
- ベトナム(1)
- インドネシア(1)
- インド(2)
- バングラデシュ(1)
- マレーシア(2)
- シンガポール(2)

NORTH AMERICA

- カナダ(38)
- アメリカ(185)

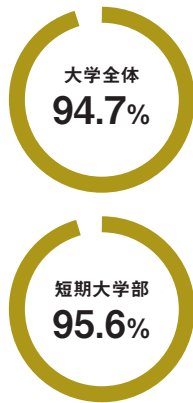
LATIN AMERICA

- メキシコ(5)
- エクアドル(3)
- ドミニカ共和国(1)
- コロンビア(1)
- ペルー(1)
- ブラジル(1)
- チリ(1)
- アルゼンチン(3)

関西外大の就職

就職率 (2021年度)

【就職率=就職者/就職希望者】



分野別 卒業生の就職実績 (2020年度～2022年度合計)



主な就職先一覧 (2022年度/就職先名は入社時の名称/順不同)

	大学	短期大学部
製造業	YKK、小松製作所、DMG森精機、堀場製作所、THK、NTN、京セラ、キーエンス、ローム、村田製作所、富士通、ヤマハ発動機、リコー、ニデック、グローリー、ニプロ、横浜ゴム、ダイハツ工業、マツダ、スズキ、ヨネックス、タカラスタンダード、コクヨ、山崎製パン、エスビー食品、ヤクルト本社、ユーシーシー上島珈琲、伊藤園、アサヒ飲料、ナカバヤシ、大王製紙、武田薬品工業、小野薬品工業、久光製薬、田辺三菱製薬、資生堂、ツムラ、ファンケル、サンスター、ワコール	京セラ、NTN、パナソニックホールディングス、タカラスタンダード、東洋クロス、デサントジャパン、東洋紡、ワールド、ラルフローレン、ラコステジャパン、ユニチカ、ワコール、たねや、小川珈琲
金融・保険・証券	日本銀行、三井住友銀行、中国銀行、関西みらい銀行、静岡銀行、南都銀行、百五銀行、みずほ銀行、りそな銀行、滋賀銀行、百十四銀行、池田泉州銀行、京都銀行、紀陽銀行、大阪シティ信用金庫、枚方信用金庫、京都中央信用金庫、尼崎信用金庫、日本郵政、みずほ証券、SMBC日興証券、大和証券グループ本社、野村證券、SBIホールディングス、スターバックスコーヒージャパン・リミテッド、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、みずほフィナンシャルグループ、第一生命保険、日本生命保険、住友生命保険、明治安田生命保険、東京海上日動火災保険	紀陽銀行、大阪シティ信用金庫、中兵庫信用金庫、北おおさが信用金庫、大同信用組合、岩井コスモ証券、岡三証券、ロングライフホールディング、住友生命保険、明治安田生命保険、第一生命保険、保険デザイン、保険ひろば、紀州農業協同組合、奈良県農業協同組合、グリーン大阪農業協同組合
サービス業	帝国ホテル、ロイヤルホテル、ニュー・オータニ、星野リゾート、ホテルグランヴィア大阪、マンダリン・オリエンタル東京、ホテル日航大阪、近鉄・都ホテルズ、ホテル京阪、ホテルニューアワジ、西村屋、リゾートトラスト、森トラスト・ホテルズ&リゾーツ、JTB、日本旅行、KNT-CTホールディングス、エイチ・アイ・エス、阪急交通社、JTB京阪トラベル、名鉄観光サービス、ユー・エス・ジェイ、オリエンタルランド、ワタベウェディング、すかいらーくホールディングス、日本マクドナルド、スターバックスコーヒージャパン、ダスキン、あずさ監査法人、トーマツ、アクセンチュア、船井総合研究所、総合警備保障、宝塚舞台、国際交流基金、青年海外協力協会	ロイヤルホテル、ニュー・オータニ、ホテルグランヴィア大阪、近鉄・都ホテルズ、西村屋、中の坊、ホテルモントレ、リゾートトラスト、三井不動産ホテルマネジメント、阪急阪神ホテルズ、ジェイアール西日本ホテル開発、京都ホテル、オリックス・ホテルマネジメント、ホテルニューアワジ、東急ホテルズ、日本旅行、くら寿司、日本マクドナルド、スターバックスコーヒージャパン、西尾レントオール、東京コンサルティングファーム、ヤマダホールディングス、ファーストリテイリング、クボタ機械設計、ユー・エス・ジェイ、オリエンタルランド、LAVA International、ANAビジネスソリューション、富士通ISサービス
商業	岩谷産業、矢崎総業、椿本興業、日本キャタピラー、GSユアサ、因幡電機産業、横浜冷凍、リョーサン、日伝、コニカミノルタジャパン、Apple Japan、ユアサ商事、マルハニチロ、タカラトミー、P&Gジャパン、三菱食品、国分グループ本社、アルフレッサ、P&Gプレステージ、ルイ・ヴィトンジャパン、ファーストリテイリング、シャネル、エルメスジャパン、アックスジャパン、ミズノ、紀ノ國屋、良品計画、中川政七商店、ユニクロ、コストコホールセールジャパン、三越伊勢丹、阪急阪神百貨店、ライフコーポレーション、セブンイレブン・ジャパン、ファミリーマート、ニトリ、東急ハンズ、ヤナセ、日比谷花壇	江綿、タペストリージャパン、オンワード樺星、東洋サックス、日本電商、図書館流通センター、コーセー化粧品販売、資生堂ジャパン、ウォルト・ディズニー・ジャパン、コストコホールセールジャパン、平和堂、高島屋、万代、ライフコーポレーション、エービーシー・マート、ヤングファッション研究所、タカキュー、ダイアナ、バル、イズミ、ユニクロ、セブンイレブン・ジャパン、ANAケーターリングサービス、ロック・フィールド、キャメル珈琲、コジマ、西日本三菱自動車販売、マツヤデンキ、トヨタカローラ新大阪、城山ホールディングス、愛眼
運輸・倉庫	西日本旅客鉄道(JR西日本)、四国旅客鉄道(JR四国)、近畿日本鉄道、京阪電気鉄道、阪急電鉄、大阪市高速電気軌道、東京地下鉄、日本貨物鉄道、日本航空、全日本空輸、ANAウイングス、ジェイエア、Peach Aviation、フジドリームエアラインズ、シンガポール航空、国営カタール航空、JALスカイ、JALスカイ大阪、ANAエアポートサービス、ANA中部空港、ANA大阪空港、Kスカイ、羽田空港サービス、日本通運、西濃運輸、ヤマト運輸、アート引越センター、日本貨物航空、近鉄エクスプレス、阪急阪神エクスプレス、JALカーゴサービス、ANA Cargo、日本郵便	ANAウイングス、ANA大阪空港、ANA沖縄空港、ANAエアポートサービス、JALスカイエアポート沖縄、ジェットスター・ジャパン、Kスカイ、関空エンタープライズ、サンヨー航空サービス、日本通運、ヤマト運輸、佐川急便、両備ホールディングス、近鉄エクスプレス、上組、日本郵便
電力・情報・通信業	朝日放送グループホールディングス、沖縄テレビ放送、福岡放送、高知さんさんテレビ、静岡朝日テレビ、熊本朝日放送、関西電力、近鉄ケーブルネットワーク、ソフトバンク、JCOM、東京リーガルマインド、東京コンピュータサービス、住友電工情報システム、ダイワボウ情報システム、ソフトウェア情報開発、日立システムズエンジニアリングサービス、Sky、京セラコミュニケーションシステム、日本アイ・ビー・エムテック・ソリューション、カブコン、アマゾンジャパン、リクルート、マイナビ、静岡新聞社、新日本海新聞社、講談社	近鉄ケーブルネットワーク、ソフトバンク、ACN、兼松コミュニケーションズ、トランス・コスモス、ネクストウェア、日本旅行ビジネスソリューションズ
建設・不動産	竹中工務店、住友林業、一条工務店、大和ハウス工業、積水ハウス、三井ホーム、旭化成ホームズ、熊谷組、奥村組、藤木工務店、乃村工務店、きんでん、三菱地所、京阪電鉄不動産、サンヨーホームズ、三井住友トラスト不動産、住友不動産販売、関西不動産販売、近鉄不動産、三井不動産リアルティ、長谷工リアルエステート、共立メンテナンス、イオンモール、ダイワロイアル、日本駐車場開発、阪急阪神ビルマネジメント、JR西日本SC開発、学生情報センター	関西不動産販売、浅川組、積水ハウス不動産関西、JR西日本京都SC開発、ダイワロイアル
医療・福祉・教育	ECC、NOVA、ニチエ学園、大阪YMCA、ベルリッツ・ジャパン、ベネッセコーポレーション、東京アカデミー、京進、浜学園、総合資格、ケーイーシー、日本年金機構、国立病院機構、日本赤十字社、教員(小学校、中学校、高校など)	NOVA、アミティー、イーオン、やる気スイッチグループ、ABC Cooking Studio、徳洲会、美杉会、スーパー・コート、中学校教員(京都府・和歌山県)
公務・その他	自衛隊(陸上、海上、航空)、警察官(警視庁、神奈川県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県等)、職員(東京都、三重県、京都府、大阪府、岡山県、福岡県等)、消防士(東京都、京都府、大阪府)、大阪国税局	自衛官(海上、陸上)、職員(大阪府・京都府・和歌山県等)

数字で見る関西外大

受験生からの
評価ランキング
【ブランド力】

国際的な
センスが身に付く
【関西エリア】
1位
リクルート「進学ブランド力調査2022」

外国人留学生の受け入れ、
教育・就職支援に力を
入れている大学

近畿の
私立大学で
1位【全体
6位】
日経HR「日経キャリアマガジン特別編集
価値ある大学2023-2024」

海外留学制度
ランキング
【留学生派遣】

1位
総数(16単位以上取得)
朝日新聞出版「大学ランキング2022年版」

圧倒的な
海外ネットワーク
(2023年3月現在)

55カ
395地
域大学

日本人学生の
グローバル教育に
取り組んでいる大学

近畿の
私立大学で
1位【全体
5位】
日経HR「日経キャリアマガジン特別編集
価値ある大学2023-2024」

留学生派遣人数
(2022年度に海外留学を
実現した学生の総数)

1,297人

編入学ランキング
【編入学2、3年次】

1位
朝日新聞出版「大学ランキング2024年版」

キャビンアテンダント
採用ランキング
【キャビンアテンダント採用
採用者(2019-2022年)】

1位
朝日新聞出版「大学ランキング2024年版」

外国人留学生
(2022年度 年間受入数)

約**960**人

外国人教員数
(2023年5月現在)

164人



2023年度

クラブ・サークル一覧

体育系、文化系、独立団体などバラエティ豊かなクラブとサークルは、外国語大学だけに語学系クラブも充実。また、全国大会に出場して活躍する学生も多く、優秀な成績を収めています。

体育会クラブ

●アーチェリー部 ●アメリカンフットボール部LINX ●空手道部 ●関西外大心身統一合気道部 ●剣道部 ●硬式庭球部 ●硬式野球部 ●サッカー部 ●柔道部 ●少林寺拳法部 ●女子駅伝部 ●水上競技部 ●セバタクロ部 ●ソフトテニス部 ●卓球部 ●チアリーダー部 PYRATES ●軟式野球部 ●日本拳法部 ●バスケットボール部 ●バドミントン部 ●バレーボール部 ●ハンドボール部 ●ボクシング部 ●女子ラクロス部 ●ラグビー部 ●陸上競技部 ●ワンダーフォーゲル部 ●フィギュアスケートサークル

文化会クラブ

●アウトドア部 ●映画研究部 ●英語研究会(E.S.S.) ●MJA部(Music Joyful Association) ●演劇部「劇団しん」 ●華道部 ●ギター部 ●競技ダンス部 ●軽音楽部 ●国際事情研究部 ●I.F.C.国際親善部 ●混声合唱団 ラベリテ ●茶道部「ぜんしん会」 ●写真部 ●JAZZ研究会 BEATS ●出版文芸部(C.P.C.) ●書道部「墨友会」 ●スペイン語会話部 ●箏曲部 ●ダンス部 NOD crew ●通訳ガイドクラブ(I.G.C.) ●ドイツ語研究会 ●美術部 FAC ●ボランティア団体ひまわり ●ボランティア団体 枚方レオクラブ ●フラダンス部 Puamelia ●フラメンコ部 Anda Jaleo ●マンドリン部

体育系・文化系 サークル

●関西外大スピリッツ(テニス) ●Gather Point(総合球技) ●サンパティック(バドミントン) ●Copain(ソフトテニス) ●ソフトボールサークル "macchu" ●TRAP×TRAP(バレーボール) ●中宮ウッドベッカーズ(野球) ●OSTRICH(バスケットボール) ●BATS(バスケットボール) ●Ballspielen(サッカー) ●MAXIMUM(バスケットボール) ●わくわくバレーボール ●吉田蹴球団(サッカー) ●Bêe Top(アルティメット) ●Sound Creation(音楽) ●キャバークラブ(音楽) ●Body2(ダンス) ●Mr.PORORO(韓国語) ●MUSIC MIND(音楽) ●Il sole Italiano(イタリア語) ●Vox Chord(アカペラ) ●Magpie(競技カルタ) ●WiZ Habitat(ボランティア) ●新日本文化研究会(世界の平和・社会問題)

独立団体

●FBS放送局 ●関西外国語大学吹奏楽部

(休部クラブを含む)

2022.07.02

外大生の厳しい生活を緊急支援 食料品・日用品を無料で配りました

新型コロナウイルスの影響でアルバイト収入が減ったり、仕送りが減額している外大生の生活を緊急支援しようと、学生会など学生4団体が大学や同窓会などの協力を得て7月2日、中宮キャンパスで食料品や日用品のセット1000人分を無料で配りました。

配布したのは、カップ麺やパスタなどの食料品と、ティッシュや洗剤などの日用品の計12点。配布のスタート時点で400人以上が列をつくりました。



スタート時には400人以上が列をつくりました



食料品と日用品計12点を配りました

2022.10.28

外大祭が開幕しました。 3年ぶりのフルバージョンでの開催

外大祭が10月28日に開幕しました。一般の来場や飲食模擬店がOKとなり、3年ぶりのフルバージョンでの開催が実現しました。

吹奏楽部が記念演奏を行い、学園天国などを演奏するとともにカラーガードのパフォーマンスを披露しました。

フラダンス部やダンスサークルBODY2などが熱演したほか、学生広場で開かれたKGU SONICでは15のグループが歌や演奏を繰り広げました。



焼きそばの模擬店に列ができました



吹奏楽部が記念演奏しました



フラダンス部が円形ステージで熱演しました



Lenoaの6人がKGU SONICで熱唱しました

2022.11.23

女子駅伝部矢尾選手が「第30回福知山マラソン」大会新記録で優勝



初マラソンながら見事な大会新記録での優勝でした

矢尾桃子選手(英語国際学部4年)が11月23日に「第30回福知山マラソン」で、女子総合の大会新記録2時間39分36秒で優勝しました。

矢尾選手は「初フルマラソンで不安もありましたが、大会運営の方々や沿道の皆さんの応援が力になり、最後まで楽しく走り切ることができました」とレースを振り返りました。そして「力不足を痛感するレースになったので、この経験を今後の駅伝やマラソンに活かしていきます」と話していました。

2022.12.14

競技エアロビックW杯のトリオで2位、 シングルで5位に輝きました

外国語学部英米語学科4年の殿下拓海さんが12月14日に東京で開かれた「スズキワールドカップ2022第33回エアロビック世界大会」に出場し、3人で演技する「トリオ部門」で2位、「男子シングル部門」で5位に輝きました。

新型コロナウイルスの影響で、スズキワールドカップは2020年、2021年と中止になり3年ぶりの開催となりました。オーストラリア、フィリピン、イタリアなど10の国と地域から選手が参加しました。

トリオ部門で殿下さんは、同じスポーツクラブに所属する宮宗萌さん、中谷祈絆さんと出場しました。難度、芸術、実施のいずれの評価も高く見事に2位を飾りました。

またシングル部門では、世界の強豪選手と互角に戦って5位を勝ち取りました。殿下さんはユース時代の2016年にシングルスで2位を記録していますが、そのとき以来の好成績となりました。



トリオ部門で演技を披露する殿下さん(右)



シングル部門では世界の強豪選手と互角に戦い5位を果たしました

2022.12.24

2023年春に海外に派遣される 留学生の壮行会が開かれました

2023年春に海外に派遣される留学生の壮行会が12月24日、中宮キャンパスのマルチメディアホールで開かれ、100人に留学生認定証書が授与されました。

大庭学長は、留学に際して心に留めてほしい3つのこととして「関西外大の公費での留学生ということを常に自覚すること」「留学先で出会った人々との交流を一生大切にすること」「出発までに日本の歴史や文化、日本人の世界観を勉強しておくこと」を挙げました。

そして明治初期に6歳で米国に留学し、のちに津田塾大学を創立した津田梅子が教え子に送ったメッセージを紹介しました。そのうえで4つ目の心に留めてほしいこととして「留学という種がまかれました。その種から豊かな実りをつけるよう自らを磨き上げてくださ」と話し、激励しました。

100人は年明け早々の1月からそれぞれの派遣先の大学に向けて出発しました。



留学派遣される100人が激励を受けました

2022.12.24 | 12.25

セバタクロ一部の3選手が全日本学生選手権で優勝、外大が2年連続学生日本一に

セバタクロ一部の馬場崎寛樹選手(英語国際学部4年)、磯部青龍選手(外国語学部4年)、小西智大選手(外国語学部4年)のレグ(チーム)が、12月24、25日に埼玉県で開かれた第30回全日本学生セバタクロ選手権大会で優勝を果たしました。外大レグは2年連続で学生日本一に輝きました。

同大会の女子の部では、松岡唯選手、三宅莉紗選手、井上弥優選手、河原未来選手(以上外国語学部4年)のレグが準優勝を飾りました。また、吉岡大介選手(外国語学部4年)、奥野諒選手(英語キャリア学部2年)、吉留匠輝選手(外国語学部1年)のレグもグループ戦を突破して決勝トーナメントに進出し、ベスト16に名乗りを上げました。

関西外大のセバタクロ一部は、出場した3つのレグがすべて決勝トーナメントに進み、強豪チームを相次いで制しました。

最優秀選手には外大の3選手が選ばれました。小西選手に最優秀アタッカー賞、馬場崎選手に最優秀トサー賞、三宅選手に最優秀サーバー賞がそれぞれ贈られました。



準優勝に輝いた(右から)松岡選手、三宅選手、井上選手、河原選手



学生日本一に輝いた(左から)馬場崎選手、磯部選手、小西選手

2023.04.02

2023年度の入学式が行われ、3429人が外大生の仲間入りをしました

2023年度の入学式が4月2日に中宮キャンパスの谷本記念講堂で行われました。大学院、大学4学部、短期大学部に3年次編入学を合わせて3429人が外大生の仲間入りをしました。

谷本学長は告辞で、「全国でもトップクラスの教育環境を誇り、攻めの学びをバックアップしていきます」と述べ、1年生は週7回の英語授業で英語漬けにし、KGCベーシックで社会人としての常識や人間力を養うと紹介しました。



3回に分けて行われました

そして、古代中国の思想家、荀子の「学はその人に近づくより便なるはなし」との言葉を紹介し、「良き師について学ぶ機会を皆さんに提供します。後は皆さん自身の意欲と行動力にかかっています」と話しました。

2023.04.19 | 04.20

短期大学部「未来キャリア英語学科」と外国語学部「国際日本学科」の開設説明会

2024年4月に開設を予定している短期大学部の未来キャリア英語学科と外国語学部の国際日本学科の説明会が4月19、20の両日に開かれました。

19日の説明会では冒頭、谷本榮子理事長が「本学のさらなる発展のために改革の手を緩めるつもりはありません。専任教員の皆さまには、これまでの実績を基に力を発揮していただきたい」と挨拶。

20日は理事長挨拶に続き、大庭幸男学長が国際日本学科の概要を説明。

両日とも、新学科設置計画の進捗状況や「学び」の領域などの説明を行ったあと、最後に教育課程の編成会議を開催する方針を確認し閉会しました。

2023.03.11

2022年度の学位記授与式が開かれ、3,246人が巣立ちました



3246人が巣立ちました

2022年度の学位記授与式が3月11日、中宮キャンパスの谷本記念講堂で挙行されました。大学院、大学3学部、短期大学部の3246人が巣立ちました。式典中のマスク着用は任意となったほか、在校生の送辞と卒業生の答辞が3年ぶりに復活しました。

大庭学長は、関西外国語大学が今年で創立78年を迎えるとしたうえで「歴史、スケール、教育環境のいずれにおいても、国内有数の外国語大学へと成長を遂げました。皆さんは、この学び舎の卒業生に名を連ねることに誇りをもち、堂々と胸を張って社会への一歩を踏み出してください」と激励しました。

2023.04.03

春学期の授業が始まり、新学部と新学科も始動しました



1年生が初めてオールイングリッシュの授業に臨みました

2023年度春学期の授業が4月3日から始まりました。本年度から新しく設置された、国際共生学部と外国語学部の英語・デジタルコミュニケーション学科は新入生を迎えてスタートを切りました。

国際共生学部のモルダエーバ・タチアナ講師が担当する

「Academic Writing I」の授業には17人が出席しました。授業はオールイングリッシュで進み、アイスブレイクの自己紹介では、自分を表すためのオリジナル紋章を作成し、趣味や高校時代のこと、好きな食べ物などをクラスメイトに紹介しました。

校則や授業内でのルールを説明し終えると、受講生は「My goals for this year」をテーマにエッセイを書き上げ初めての授業を終えました。

授業に参加した久保ひのりさんは、「すべて英語ということもあり、とても緊張しましたが、先生が優しい単語を使って説明してくださり少し安心しました。授業を終えてこれから頑張ろうと改めて気合が入りました」と話しました。



専任教員らが参加した未来キャリア英語学科開設に関する説明会

2023年度

ホームカミングデー・同窓会総会

2023年10月28日 土 外大祭同時開催



ゲストプロフィール

川 緒 祐 子 様 Jazz Vocalist
(Yuko Kawabata)

短期大学部英米語学科卒



岐阜市出身。シャンソン歌手である母の歌で育ち、幼少の頃から自然に歌に親しむ。学生の時に経験したアメリカ留学のうちに本場のジャズに触れる。ケイコ・リーに師事。2000年、カーネギーホール・ワイルリサイタルホールでの「遠藤伸子シャンソンリサイタル」をきっかけに翌年より毎年NYへ音楽留学を始め、2007年NYにて『eight of new yorkers』をCD録音を果たす。2009年、2012年、岐阜にてテッド・ローゼンタール、The Diva Jazz Trio等NYミュージシャンと共にコンサート開催。2018年、2020年、遠藤伸子様と「母娘くおやこ」のこれまで、これから」コンサートを開催。2021年夏、OKBふれあい会館サランカホール「Love Like Live Jazz」コンサートを開催。2022年夏、『Rockin' Jazz in a room』CDリリース。ぎふ清流文化プラザにてCDリリースコンサート開催。西日本へCDリリースツアーも行う。2015年より2年半、FMわっち「川緒祐子のキリンJAZZナイト」のパーソナリティを務める。ジャズ、ブルース・ボサノバを始めとするラテン、日本の曲など、幅広いジャンルに挑戦し続けている。

川緒祐子ホームページ <https://yukokawabata-jazz.com>

場 所 関西外国語大学 中宮キャンパス
(京阪電車 枚方市駅下車 北口3番、4番乗り場より約8分)

当日のスケジュール

※不測の事態により、スケジュールや内容に変更が生じる場合があります。
その際には、ホームページその他で告知いたしますのでご確認ください。

第1部 11:00 ~ 11:20 総 会
11:20 ~ 11:25 母校の現状報告

第2部 11:30 ~ 12:30 演奏会 川 緒 祐 子 様 Jazz Vocalist
(第1部・2部の会場: 中宮キャンパス マルチメディアホール)

第3部 12:40 ~ 15:00 懇親会
(会場: 中宮キャンパス 厚生南館)
● 懇親会会場では、軽食・お飲み物をご用意しています。
● 懇親会参加費: お一人2,000円(中学生以下は無料)

※ホームカミングデーにご参加の方は同封のハガキを返送してください。
同窓会のホームページやeメールでも申込可能です。

関西外国語大学・短期大学部同窓会 活動支援寄付金のお願い

関西外国語大学・短期大学部同窓会では、皆様からのご寄付を募っています。

同窓会の活動資金は大学卒業時に徴収している同窓会費(終身で1万円)が唯一の収入源となっており、その中から会報誌の制作・発送費、本部・支部総会に係る費用、在学生への支援などに使われています。しかしながら、収入額がほぼ固定(卒業生数が、ほぼ一定)されているのに対し、支出については会員数の増加および支部の増加等に伴う活動費が年々増大し、近い将来、資金不足が生じることが予想されます。

このような状況を踏まえ、この度同窓生の皆様からのご寄付を募ることとしました。皆様からのご寄付により、今後も同窓会を安定的に運営し、皆様のご期待にお応えしたいと考えております。

同窓生の皆様のご理解とご支援のほど、よろしくお願い致します。

募 集 内 容 1口 3,000円 以上

寄付金の使途 会報誌の制作・発送費、本部・支部総会に係る費用、ホームページの維持・管理費、名簿管理費、在学生への奨学金・課外活動等支援奨励金

寄 付 方 法 銀行振込(下記口座) ※手数料は自己負担でお願いします。

三井住友銀行 枚方支店 (普) 4967505

関西外大同窓会寄付金口 会長 藤木英幸(カンサイガイドウソウカイキフキングチカイチョウフジキヒデユキ)

※ご依頼氏名(フルネーム)の後に会員NO.を入力してください(例:y123456)。会員NO.は送付した封筒シール右下のx、y、zから始まる番号です。封筒の紛失等会員番号が分からない場合は、入力していただく必要はございません。

そ の 他 税法上の寄付金控除の対象とはなりませんので、ご了承ください。

関西外国語大学・短期大学部同窓会

〒573-1001 大阪府枚方市中宮東之町16-1 ICC4階 6410室
TEL:072-805-0140(直通) FAX:072-805-2812
info@kansaignadai-dousou.jp

【開室時間】10:00~16:00(月曜日~金曜日)
※土曜、日曜、祝日、大学休業日は閉室。

お問い合わせ先

メールアドレス登録・
変更登録のお願い

登録されたメールアドレス宛てに同窓会などの最新情報を配信しています。
会員登録済みでメールアドレスが未登録またはアドレスを変更された方は登録内容変更
フォームよりメールアドレスの登録、変更登録をお願いします。
また住所、氏名などの変更も同窓会のホームページから変更登録をお願いします。

関西外国語大学・短期大学部同窓会誌 第13号 2023年10月1日発行

関西外国語大学・短期大学部同窓会 〒573-1001 大阪府枚方市中宮東之町16-1
Tel. 072-805-0140 Fax. 072-805-2812

<http://www.kansaignadai-dousou.jp/>

Alumni

関西外国語大学・短期大学部同窓会誌